

大阪市は市民に寄り添うべき

大阪市議会
環境特別委員会

井上浩議員が要望



日本共産党の井上浩大阪市議は、15日開かれた市議会環境対策特別委員会で、P.F.A.S汚染問題を取り上げ、摂津市民らが取り組む

す。

井上氏は、「連絡会議の内容を市民に公開すべき」

と主張。公害調停でも市民は、ダイキン工業に対し環境調査などの一切の資料開示を求めていると述べました。

質問する井上浩議員＝15日、大阪市議会環境対策特別委員会

ダイキンP.F.A.S公害調停にも触れて質問しました。

ダイキン工業淀川製作所

を発生源とするP.F.O.Aによる地下水汚染を巡り、大阪府と摂津市、ダイキン工業の3者による連絡会議が2009年から開かれており、大阪市も21年からオ

ブザーバー参加しています。

井上氏は、世界各國では

P.F.A.Sに対する規制が強化されてきているが、日本ではこれまで規制値がないなど、世界の流れに大きく立ち遅れていると強調。「厳しい規制値を設定するよう、大阪市として国に求めるべき」と述べました。